

★小惑星5741番「丸田あかね」が地球へ接近しました

松本直弥（佐世保支部）

(1)小惑星命名のいきさつ

毎年、本協会の総会会場としてお借りしている波佐見町の「あかね天文台」が、1998年に飲酒運転で亡くなられた丸田あかねさんにちなんで命名されたことは、たくさんの方がご存じだと思います。(知らない人は次頁の新聞記事参照)

かねてから、あかねさんの名前を小惑星に命けることができたらと考えていましたが、全国的なアマチュア天文家の会である「東亜天文学会」の会誌「天界」2009年4月号に、「小惑星名公募のお知らせ」という記事が載りました。それは、静岡の浦田武さんが発見して番号登録を行った中で、まだ命名されていない小惑星の名前を東亜天文学会会員から公募するとの内容でした。

浦田さんは、1978年に日本のアマチュアでは最初に小惑星を発見された方で、その小惑星は2090番瑞穂(お嬢さんの名前)と命名されています。その後、単独あるいは協同で発見した小惑星は実に645個におよび、そのうち551個は未命名のままです。自分で考えるのが面倒?というわけでもないでしょうが、たくさんあるから、みなさんで命付けたい名前があったら提案していいよ、という趣旨のようです。

早速と言いたいところですが、命名提案に添付する英文の命名文を考えるのに手間取り、8月下旬にお世話役の中野圭一さんへお願いの通信をお送りしました。その結果、2009年10月6日にIAU国際天文学連合小惑星センターへ小惑星Akanemarutaが無事に登録されました。なお、最終的な命名文は、中野さんによってかなり添削されていました。

この場をお借りして、命名権を提供していただいた浦田武さん、お世話いただいた中野圭一さんに、あらためて御礼申し上げます。

小惑星5741 「丸田あかね」の命名文

5741 Akanemaruta Discovered 1989 Dec. 2 at Oohira. Akane Maruta (1988-1998) was a girl who loved stars. She was killed in an accident caused by a drunk driver. The Akane Astronomical Observatory was built in her memory. A public concert is held there every May to honor her around the time of her birthday. The name was suggested by N. Matsumoto.
--

(2)小惑星「丸田あかね」はどんな星?

太陽系には、8個の惑星の他にもさまざまな天体が存在します。小惑星は太陽系内の小さな惑星のことです。大半の小惑星は木星と火星の軌道の間集中しており、この領域は小惑星帯と呼ばれています。現在軌道が確定して小惑星番号が付けられている小惑星は約23万個あるそうですが、まだ軌道確定に至らず仮符合だけのものを含めると約48万個、現在もリニアLINEARなどの自動化された発見システムでの大量発見が続いていることを考えると、どこまで数が増えるかわかりません。

さて、「あかね星」の軌道図を次頁に示しました。火星と木星の軌道のほぼ中間にあり、周期4.85年で太陽のまわりを回っています。ごく標準的な小惑星と考えられます。最も地球へ接近した時でも明るさは16等、肉眼で見える最も暗い星は6等星ですが、その1万分の1の明るさしかありません。一般的には望遠鏡を使っても眼視的に見るのは無理です。(軌道の詳細などについては <http://ssd.jpl.nasa.gov/sbdb.cgi#top> をご覧ください。)

(3)地球へ接近

名前が登録された4ヶ月後の2010年2月7日、タイムリーにも地球へ接近し、明るさも16等にまで明るくなりました。

最接近時の地球との距離は約2億9700万kmで、地球-太陽間距離の約2倍です。

小惑星命名を報道してもらうためには画像が不可欠と思い、11月下旬から挑戦していたのですが、17等級のうち

はなかなか人様に見せられるような画像は得られず、年が明けて16等台に入った1月18日に撮影した画像を、お待たせしていた長崎新聞に提供しました。下の画像は最も接近した2月6日夜に撮影したものです。この時の明るさは16.2等です。

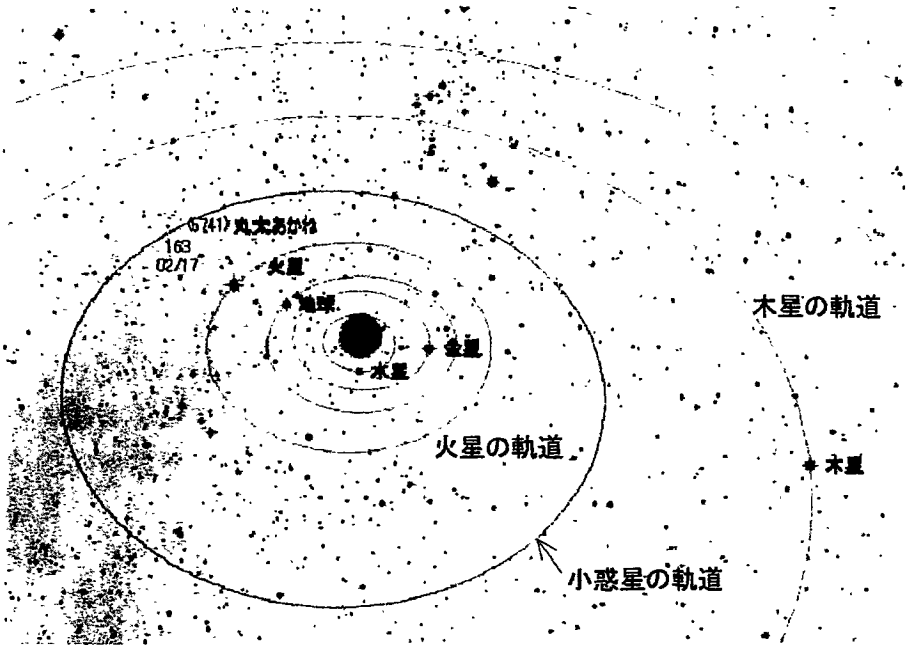


図 小惑星5741丸田あかねの軌道



40cm反射+ニコンD3S(ISO 12800) 2010年2月6日23:37~(30秒露出の2コマを合成)
移動は23:34-23:39:30の2コマを合成 (小惑星は他の星の間を動いていくように見えます)